

# 福井大学学術交流協定校への派遣留学(交換留学) 月例報告書

平成 27 年 03 月 09 日 記入

2月

留学先： ハンブルク大学

氏名： 三上 結以

## ① 学習面について

これまでの四ヶ月は語学を中心に勉強してきましたが、授業も終了したので、各地の教育施設に出かけ、ドイツの歴史や環境対策等について学びました。

ベルリンでは、DDR(旧東ドイツ)博物館やユダヤ博物館を訪れました。DDR博物館は体験型の博物館で、実際にその時代の車に乗ったり、家電に触れたりしながら、旧東ドイツ時代の人々の暮らしを学びました。ユダヤ博物館では、ユダヤ人の歴史、宗教、文化について理解を深めることができました。

また、ハンブルクにある環境センターも訪れました。そこでは、小学生の社会科見学が行われていたので、私もその授業を見学させていただきました。エネルギーという、小学生にとっては少し難しいテーマでしたが、簡単な実験やゲームを通して楽しく学んでおり、私自身もとても勉強になりました。

## ② 生活面について

二月は、留學生活最後の月で、学生寮での生活も最後です。寮を出る前に、部屋を掃除しなければなりません。10日に大家さんが部屋を見に来ました。そのため、前日は荷物を全て片づけ、窓や壁を拭き、床も掃除しました。私の部屋は、床に絨毯のようなものが最初から敷いてあり、これは取り外すことができません。この絨毯に髪の毛などが絡まっていて、掃除するのがとても大変でした。隣の部屋の人から掃除機を借りましたが、日本の掃除機に比べて吸引力が弱く、全く役に立ちませんでした。仕方なく、手で一本一本取り、なんとか綺麗になりました。

そして、同居人ともお別れです。私の同居人はとても良い人たちでした。綺麗好きで料理好きで、ドイツ語がよく分からない私のために英語で話してくれて、分からないことや困ったことはないか常に気にかけてくれました。手作りのお菓子を貰ったこともありました。私が帰る日も、向こうから私の部屋まで来て、挨拶してくれました。他の留学生には、同居人と合わずに喧嘩をしたり、毎日我慢して生活しているという人もいたので、その点私は本当にラッキーだったと思います。

## ③ 週末、休暇中の過ごし方について

二月は春休みのため学校がありません。この一ヶ月をどう過ごそうか考えた結果、旅行に出かけることにしました。ドイツ人は旅行が大好きだそうです。その理由がなんとなく分かる気がします。ヨーロッパの国々は陸続きで、特にEU域内では国境間の検問も無く自由に行き来できるため、海外旅行もしやすいです。ドイツはヨーロッパの真ん中に位置しているため、特に近隣国への旅行がしやすいのです。

私は、海外はイタリアのフィレンツェ、ベネチア、ピサへ行きました。イタリアでは、美術館や教会、ピサの斜塔に行ったり、イタリア料理を満喫しました。ドイツ国内では、ベルリンとケルンへ行きました。ベルリンでは、上記の通り、博物館へ行きました。ケルンでは、カーニバルに参加しました。ドイツ語の授業でカーニバルについて勉強したので、日本にいたときからケルンのカーニバルには絶対に行きたいと思っていました。カーニバルはカトリックのお祭りで、断食期間の前に肉を食べたり思いっきり騒ごう！ということから始まったそうです。現在ではそのような意味はほとんどないかもしれませんが、普段真面目なドイツ人が、この日だけは老若男女関係なく仮装して盛り上がります。パレードではお菓子が投げられ、皆必死で拾います。中には花束や大きな箱のチョコレートも投げられ、ぼーっとしていると頭に当たり少し危ないです。私も鞆いっぱいのお菓子をゲットしました。



ケルンのカーニバルにて

## ④ 後輩へのアドバイス

この報告書もこれで最後になるので、これから留学を予定している人や迷っている人にメッセージを送りたいと思います。私のこれまでの報告書を見たら分かりますが、留學生活はとても楽しいです。もし、留学を迷っている人がいたら、絶対実行するべきです。留学先で経験することは、今後の人生の大きな宝となるでしょう。不安に思うことは何もありません。もし辛いことがあってもなんとかなります。そして、これから留学することが決まっている人は、現地のことを十分に調べると良いです。私は、高校時代に世界史を勉強していなかったことを後悔しました。美術館や博物館に行ったり、建築物を見るとき、世界史の知識があるのとないのでは全く違います。出発する前に、その国の歴史なども勉強するといいと思います。もちろん、留学先の言語も、出発する前にしっかりと勉強しましょう。私のように、喋れなくてもなんとかなりますが、喋れた方がもっと友達もできるし、留學生活がより良いものになると思います。

## ⑤ 今月を振り返って

留学生活最後の月ということで、旅行をしたり、パーティーに参加したり、卒論のための資料を集めたり、荷造りをしたり、なにかと忙しい一ヶ月でした。それと同時に、友達の大切さや有り難さに気づいた一ヶ月にもなりました。もうすぐ帰国するということで、私がまだ行ったことがない場所やお店に連れて行ってくれた友人、銀行口座を閉じるために付き添ってくれた友人、お土産を買いに行くのに付き合ってくれた友人、私と関わってくれた全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。

帰国の前日は、特に仲の良い友達たちが、私のためにお別れ会を開いてくれ、明け方まで皆でドイツビールを堪能しました。帰国の日、朝の便にも関わらず、皆が見送りに来てくれました。お別れ会にいた友達はほとんど寝ていない状態でした。メッセージカードをもらい、全員とハグをして別れました。たった五ヶ月で、こんなに皆と仲良くなれるとは思いませんでした。彼らに出会えて本当によかったと思いました。



空港にて

















